

フィクション

加藤 誓 (ちかい)

昨日の昼2時過ぎ、東尋坊の海岸に若い女性が死体で打ち上げられた。胸に刃物が刺さっていた。それから、30分後、京都嵐山の山中で、首を絞められた跡のある着物姿の婦人が発見された。



その1時間後、今度は鬼怒川温泉の川岸で、有名な陶芸家がうつ伏せ状態で死んでいるのを釣り人が発見。パトカーが、けたたましくサイレンを鳴らし駆け付けた。そして、夜9時過ぎ、東京都のホテルの一室で60代の男性が鈍器で殴られ、頭から血を流して倒れており、刑事がせわしく部屋の中を捜査していた。

22時、十和田湖畔で燃えた車のトランクから、若い男女と思われる焦げた死体が見つかった。昨日に続き今日も、14時から16時に同じ様な殺人事件が発生した。

21時から23時にも発生するはずである。

毎日、事件は発生するが、何故か午前中には発生しない。そして犯人は遅くとも翌日には必ず見つかる。迷宮入りはない。不思議！ ミステリー！

そうなんです。

テレビ番組の「ミステリー＝謎解き」「サスペンス＝ハラハラドキドキ」のことです。海外でも殺人事件ドラマはあるが、日本の様な残虐な画像はなく、作品数も少ない。韓ドラでは殺人事件ドラマは滅多にない。(私は、韓ドラは滅多に見ない。)

ところで、私は、歳を取るほど、これらの殺人事件ドラマを見なくなった。

根気が無くなり長時間(30分でも)の謎解きは付き合い切れない。

ハラハラドキドキは健康に良くないし、残虐な画像は精神衛生上悪い。

「事実は小説より奇なり」の如くドラマを真似た事件や、それ以上に奇怪な事件が現実にも多発しており、殺人ドラマは余計見たくない。

その点、ドラマ「水戸黄門」は、悪人は見ただけで分かり、結末も

分かっており安心である。「助さん、格さん、懲らしめてやりなさい！」



峰打ちされた侍が「斬っても出てくる芝居の幽霊」何度も同じ顔が画面に登場する。血は出ない。

そして、東野栄次郎演ずる黄門様の高笑い！ 由美かおるが色んな役で華を添える。

地方の名物名所も勉強になる。高齢者には理想的な番組である。

私も良く観ていたが、最近は再放送ばかりで、少々飽きがきた。

「ミステリー」「サスペンス」のドラマに殺人事件を使わなくても、残虐な画面を使わなくても出来るはず。また、朝ドラはその時間に毎日欠かさず見ないといけないことが、私には合わない。

大河ドラマも展開が遅く長時間の辛抱が私にはできない。録画までして見たくない。

再再、再放送を含め、テレビ放送局は、コロナ禍で籠っている高齢者、私を、楽しませるドラマを、もう少し考えて、作って欲しい。

例えば、有名な「HERO」や「ドクターX」「ガリレオ」はもとより「ハコヅメ」

「シェフは名探偵」「鴨川食堂」「名古屋行き最終列車」などそれらの続きの新作が出来れば有り難い。

部屋の冷房が効き過ぎたのか、或いはテレビ放送局のプロデューサーが噂したのか

「フィクション！」。 くしゃみであって決してコロナ咳ではありません。